

2019年12月26日「部分日食を観察しよう！」

○観察のしかた

日食専用のグラスや遮光板を使って観察しましょう

日食グラスを正しく使うと、安全に太陽を観察することができます（一般のサングラスなどは、どんなに濃い色のものでも太陽の強い光や熱を通してしまいます）。必ず製品の説明書を読んで、使い方を確認しましょう。



画像提供：国立天文台

- 下を向いて、日食グラスを目に当ててから顔を上げ、太陽の方向を見る。
- 日食グラスをしっかりと目に当てて、太陽の光が日食グラスのまわりから目に入ってこないようにする。
- 顔を太陽の方向に向けている間は、絶対に日食グラスから目を外さない。
- 日食グラスを使っても太陽を観察する時間はなるべく短くし、長時間連続した観察をしない。

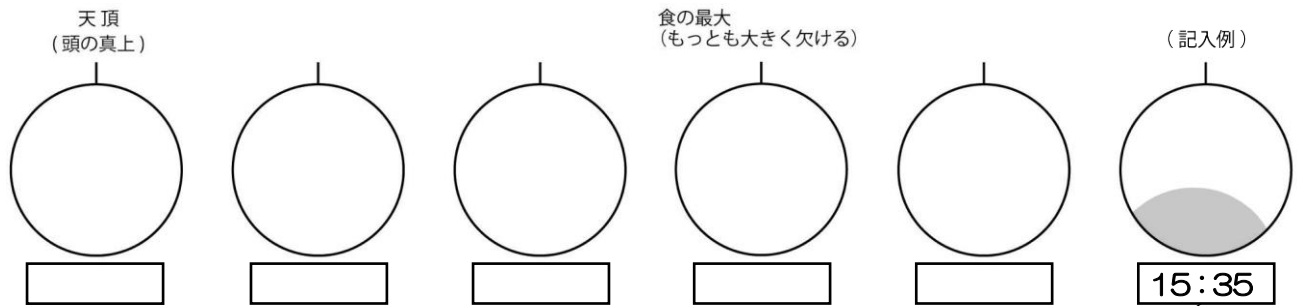


画像提供：国立天文台

見た目ではあまりまぶしく感じなくても、光の遮断が不十分なものや目に有害な光を通しやすいものを使うと、網膜（目の奥のスクリーンの役割をする部分）が傷ついて、失明してしまう危険性があります。太陽の方向を向いて観察するときは、**必ず日食グラスを使いましょう。**

【記録用紙】（食の始め 14 時 28 分 11 秒 食の最大 15 時 35 分 27 秒 日の入り 16 時 34 分）

※日食は南西の比較的低い位置で見られます。視界が開けたところで観察しましょう。



画像提供：多摩六都科学館

観察した時間を記入しましょう

【日食を観察した感想】

____年 ____組 ____番 氏名_____

【参考・引用HP】・国立天文台「日食の観察のしかた」 ・多摩六都科学館「部分日食を観察しよう！」